

令和2年度第2回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録

日 時：令和2年9月1日（火）16時10分 から 16時50分

場 所：ZoomによるWEB会議

出席者：1号委員 加藤、釜井、木戸

2号委員 山下、三浦（哲）、内村、戸田、生田、Netra、平松

3号委員 飯高、西嶋、渦岡、土屋、倉田、池田、塚原、安江

4号委員 橋本（武）

5号委員 飯塚

6号委員 畑山、横松

オブザーバ 橋本（学）、上山、三浦（伸）

陪 席 河津、一井、南口、幸、大西

（敬称略、委員名簿順）

配付資料：

資料1-1 京都大学防災研究所 自然災害研究協議会 委員名簿

資料1-2 第2回自然災害研究協議会 出席者名簿

資料2 令和2年度第1回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録（案）

資料3 本部・各地区部会の活動報告（中間）

3-1 本部、3-2 北海道地区、3-3 東北地区、3-4 関東地区、

3-5 中部地区、3-6 近畿地区、3-7 中国地区（口頭報告）、3-8 四国地区、

3-9 西部地区

資料3-1-1 第57回自然災害科学総合シンポジウム プログラム

資料3-1-2 科研費の計画概要

資料3-1-3 データベース SAIGAI 改革に向けた取り組みの進捗報告

配付冊子等：

規程、申合せ

協議会議事に先立ち、橋本 京都大学防災研究所長から挨拶があり、本協議会直前まで開催されていた「第57回自然災害科学総合シンポジウム—頻発する風水害と「新しい生活様式」—」への協力への謝意が述べられた。続いて、上山 文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震火山専門官から挨拶があり、今後の自然災害への対応への本協議会の引き続きの協力要請などが述べられた。

議 事：

1. 令和2年度 第1回協議会議事録(案)の確認(資料2)

釜井議長より、資料に基づいて説明があり、原案とおりの了承された。

2. 令和2年度 本部・各地区部会からの活動報告及び今後の活動計画(資料3)

資料に基づいて、本部並びに各地区部会より令和年度の活動計画及び予算計画について説明がなされ、了承された。

全体的に、コロナ禍による事業の縮小、会議等のオンライン化への変更等の発言が目立ち、事務局からは、会議等のオンライン化等による旅費・謝金等の余剰金の他事業への流用が勧められ、なおかつ余剰金が出る場合は、早期の事務局への相談などが求められた。

(説明要旨は以下のとおり)

○本 部：第57回自然災害科学総合シンポジウムの開催(2020年9月1日 オンライン開催、河川災害シンポジウムの開催(2020年11月4日 富山県民会館)、科研費(特別研究促進費)・突発災害調査の実施(令和2年7月豪雨災害(研究代表者：大本照憲・熊本大学教授))(候補者リストを求めているが、あくまで候補者リストでありメンバーは研究代表者が決定することについて注意喚起)、突発災害(初動調査、継続的調査等)調査研究サポート(令和2年7月豪雨災害)(本部のサポートはなく、主として、地方部会に対応)、データベース SAIGAI 改革への進捗状況、国際展開調査(世界防災研究所連合(Global Alliance of Disaster Research Institute (GADRI))との連携(前回報告時から進展なし))、人材データベース(WEBサイト更新)。

○北海道地区：第1回幹事会を開催(オンライン)。第2回幹事会及び総会(1回)の開催、地区フォーラム(北見工業大学の「地域と歩む防災研究センター」との共催で検討中)開催、資料センター報告の印刷頒布、北海道地区自然災害関係研究者センターHPの管理運営を予定。なお、第1回幹事会オンライン化による旅費の余剰金は印刷費に流用。

○東北地区：(1) 東北地域災害科学研究集会及び東北地区部会総会の開催(2020年12月25日～26日 日本大学工学部 ハットNE(62号館))(オンラインの可能性。ポスター発表について検討中。)、研究論文集の発刊

○関東地区：市民オープンフォーラム(2020年12月5日 テーマは、水害関係で“彩の国”市民科学オープンフォーラム「令和元年東日本台風から1年：行政と住民、それぞれの危機管理の方向性」令和2年12月5日(土)13:00-16:30、ウエスタ川越)の開催(日時場所を決めて出演者交渉中だが、オンライン開催の可能性はある)

- 中部地区：げんさい楽座のスピアウト企画の開催（岐阜大学地域減災研究センター）、減災連携シンポジウムの開催（コロナ禍により延期 名古屋大学減災館）、第29回減災館特別企画展（コロナ禍によりバーチャル開催）、東海圏減災研究コンソーシアム事業（仮）の開催（2020年度・名古屋市内）、三重県・三重大学 みえ防災・減災センター 研究成果公開シンポジウム（仮）の開催（2020年秋 三重大学講堂小ホール）（状況によりオンライン開催）、シンポジウム「インフラの耐震性強化・災害復旧とメンテナンス」の開催（2021年1月頃に延期 名古屋工業大学）、防災シンポジウムの開催（2020年12月 豊橋市内）、自然災害科学中部地区研究集会の開催（2021年3月6日）、中部地区自然災害史料センターの活動（HPの運営管理、水防災セミナーの開催、SAIGAI データベースの更新）、自然災害調査・報告活動
- 近畿地区：部会幹事の交代、HPの更新、地域防災実践型共同研究（採択済、今後実施、南海トラフがテーマ）、近畿地区部会メンバー名簿更新、近畿地区幹事会の開催（2020年9月2日予定）、防災関連研究集会の開催（年3回、これから募集する）
- 中国地区：中国地方（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）在住研究者等との研究活動の連携促進、部会HPの管理・充実、研究グループの金銭補助、研究発表会の実施（2021年3月）、研究論文集の発行
- 四国地区：突発災害調査（突発災害調査・令和2年7月九州南部豪雨災害調査：熊本県・八代市土石流災害地調査（8月10日～12日）、「令和2年自然災害フォーラム&第15回南海地震四国地域学術シンポジウム」開催（令和2年12月18日（金）10:00～15:00（予定）、サンポートホール高松6階61会議室+遠隔（ZOOM Webinar）（オンサイトとオンラインで半々のハイブリッド型）、地区部会の開催（2021年2月下旬～3月上旬 高松市、オンライン開催の可能性）
- 西部地区：研究発表会の開催（2020年2月5日）、地区部会報の発行、メーリングリストの管理・更新

3. 今後の予定（第3回自然災害研究協議会開催について）

渦岡委員より、令和3年3月24日（水）、25日（木）、26日（金）日が提案され、後日、正式に日程照会がなされることとなった。

4. その他

なし。